# 京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價　一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太

印刷人　松久神一郎

發行所　京城新報社　京城西署西小門通(電話六六二番)

雜錄

## 内外應酬　一記者

### 牧師へ

去月或牧師の京城に耶蘇敎信者の心を惑はす所謂外道あり、若し彼めずんば帝國を滅ぼすべしとやうの慷慨論を戰はせたことがある、が其後何の沙汰にも接せぬ、外遊が閑患したのであらうか

序に聞きたいのは、京城に在る吾牧師達は韓人に傳道する必要乃至責任を有せぬのであらうか、先づ遲きより遲きに失して居るべく企劃されたのであらうか、會て或牧師の手に成りし『宣敎師が統監政治の邪魔をなしたといふは嘘である若しは不都合な申條である』との宣敎師擁護文を何かの雜誌で見たことがある。京城の牧師の内に、逞殺の消息に通じ如何なる敎勳を為し得らるゝ人があることは吾輩の大に心強く感ずる處である、と同時に宣敎師が信徒たる韓人に對し如何の敎訓を與へ、爲めに信徒が如何の思想を有するに至つたかを實際に知る牧師が有るかを聞きたい、何の彼のといふよりも能く韓語の話を聞きたい、尤も理屈を言へば牧師が韓語を話す必要は無い、併し吾輩は理屈を言ふので無い、只事實を聞かんと欲するので一つ吾輩の爲めに聞いて置きたい、

渡邊高等法院長は熱心なる信者で、彼の職務に熱學する傍ら道の為めに盡すことが甚だ多いと聞く、何にそれの信徒の會合には時折りならず說敎もせられる誠に結構なることながら渡邊氏の說敎は氏が高等法院長たることが太だ權威を加ふる以て或は拒み難き事相ではあるまいか。所謂道なるもの、權威にあるものでは無い。高等法院長たる官名は加ふる處あるものゝやうに思はれて、道なるものゝ權威の輕蔑しからぬ心地ぞせらるゝと云つたものが信者の中にもあるたよ、と變な判らぬことを云ふものもある、果して爾うしたものであらうか、理屈じやない、實際問題の如きなものである、聞きたいのは諸君の立派なる明答を得たいのである。

## 地方通信

### ▲平壌通信

#### ▲水汲人夫の運動

平壌水道の通水により當地の汲水業者(韓人)並に人夫は非常の打撃を蒙りたるものとなし過日來讓せし朴内部大臣に對し直訴を企てたる事ありしも警官に押へられて其の目的を果さゞりしが警察及び水道事務所にては一應給水業者及び人夫の重なる者に對し種々訓戒を與へ且つ來る十日同給水請負者の競爭入札を執行するを以て請負者決定の上にて夫々最良の方法を採るべく諭示したるに爾來彼等は連日密議を凝し居たるが昨日水道事務所に同業者連署の請願書を提出し給水請負者は普通人に請負はしめず面長又は其他の公職者に請負はしめよとの趣旨にて其理由とする所は普通人に請負はしむるときは人夫は非常なる苛酷なる取扱を受け万事に一般の難澁少なからざるが故に一般人の信用する公職を有する者に請負はしめられたしと云ふにあり

#### ▲韓人と水道

當地水道竣成以來一般韓人の水道に對する思惑は非常に良好にして何れ一日も早く通水さるべきを希望し居り給水申込者は陸續として又非常に多く現在の模樣にては日本人側よりも却て韓人側に多く殊に奇異なるは自家引込みの私用權布設申込の如き殆んど韓人を以て滿たされ今日までの申込み割合を比較すれば日本人側三分强にして韓人側七分强の有樣にあり

#### ▲農學校開校式

模範農場平壌出張所にては今回當地農學校を設立し昨日午前十一時より其開校式を行ひたるが學部よりは俵次官臨場せられたるが次官は一兩日間滯在の上當地各學校を始め一般の學務を視察する由なり

#### ▲降雨と降雹

本年當地方は非常の旱魃にて未だ雜穀の植付けも出來ざる有樣なれば農民は何れも饑饉を覺悟し居りしが去る三十一日夕刻より降雨あり引續き大少の降雨ありて本日に至るも未だ晴天を見るざ程なれば是れにて農家一般も大に愁眉を開きたるが昨日來は頗る强雨となり殊に本日午前七時頃より近來稀なる雷雨となり午前九時頃には大粒の降雹ありたり(五日)

## 靜躁昏明

### 叩くに及ばず　一記者

軍司令部に明石參謀長を訪ふ者の、眼に先づつくは入口の扉に『叩くに及ばず』と記したる紙片を貼られたることである、

軍の最も機密なる事務を視らるべき參謀長の事務室に『叩くに及ばず』は誰れしも反つて面喰ふべく十分の準備さいふに足る、

『將軍は什麽なれ方です』と昵近者に問へば云ひ合せたやうに『分らんですな』と答ふ、『偉いのですか』と重ねて問へば『偉らいのでせう』と答ふ

將軍は永く公使館附武官として歐洲に駐在し、英、佛、獨、露の各國語は殆んど自由に繰らるゝ、夫れに聞々不得要領で聽く人の意識をボカスことは極めて不充分であるが、韓語は日本語も話せる、韓内地の出張に溫突のゴロ凝なども至つて平氣、極めてハイカラなるべくして而かも此上無き蠻カラ、アノ大きな體軀で手數の懸らぬのは不思議な程で沐浴は俗に云ふ烏の行水より長くは無い、でも髭丈けは毎日剃る、此の邊は多少ハイカラな處か知らぬが、兎に角便々たる大腹に何物が藏されてゐるかは釋迦樣でも御存じはあるまいといふ、郷國は福岡、年齢は四十六、筑前琵琶には深き〱趣味を解してゐられると南山町邊で噂さがある、

## ◎新刊紹介

▲成功(六月號、東京本郷區弓町一の一同社發行郵稅共十六錢五厘)

▲婦人世界(六月號、東京京橋區南紺屋町實業之日本社發行郵稅共十六錢五厘)

▲實業之日本(六月號、東京京橋區南紺屋町同社發行郵稅共十二錢)

▲婦女世界(六月號、東京神田表神保町同文館發行郵稅共十五錢)

▲法政新聞(第十四號五月二十五日、京城廣川町五番戸同社發行一箇月廿五錢)

▲東洋時報(第百四十號五月二十日、東京麴町區内山下町一の一同社發行五十錢)

▲雄辯(第五號六月一日、東京銀座大日本圖書株式會社郵稅共二十三錢五厘)

▲新公論(六月號、東京本郷東片町一一同社郵稅共十七錢五厘)

▲探檢世界(六月號、東京本郷弓町一の一成功社郵稅共十六錢五厘)

▲算術最大速成法講(第一號、東京神田錦町三の一七數理專修學院二十五錢)



## 第百卅二席　邑井一講演

### 津田近江之守(卅七)

委細承知と四人掛り、是れから斬結び始めると成程半太夫の働き眼を驚かすばかり、四人が斬立てられ、捨置けばしいから是れを聞附けて大石内藏之助が寺阪吉右衛門を連れて來ると隣人掛りで四人の方が受太刀になつて居るから、大石が又々合詞を以て助勢せると又々三人一組は倉橋傳助間新六村松三太夫是から七人掛りとなる、半太夫は逆も亡き身と思ふから大勢程が望みなりとあつて口よりは黑煙りを吐き覺ねた丈けの腕を現はして、酒人劍殺人刀の奥の手を以て必死に暴れ廻るに依つて七人の方がまだ是れで受太刀だ、内藏之助が扨ても銘人があればあるものか、此敵一人の爲に斯く人數を掛くるといふは如何にも殘念至極、併し今宵卑怯未練を言ふ所にあらず、向ふは大勢此方は數なき四十七名人數を增すも恥辱ではなからうと思ひし故又々合詞を以て呼はると是れへ驅着け來たつた三八一組は神崎與五郎中村勘助矢頭衛門七是れで十八掛り、漸く是れで五分になつた、十八の方は危い所はないが、まだ半太夫を討つといふ所にはいかぬ其上半太夫は手疵は一個所もない、盛んに烈しく斬合つて居るから、大石が愈々呆れた、一人の敵に十八此處で引取られて仕舞ふと、何うも戰ひの爲に夜が最う深更所ではない、明方に及び若し上野介殿を討ち奉るに至らぬ、時には亡君の位牌に對し我々の恥辱、實に此上もないこと、是非に及ばん我自身に手を下ざうかと思つて采を腰の管に納め、大石が刀の柄に手を掛けて自身に手を下さうといふ、折から廊下をドン〱荒い足音で驅けて來る者がある、是れが敵なら大變だと思ふ中に足音が近くなるから 内「山」と呼ぶと「川」と答へたから漸う〱安心して 内「何誰でござる」唯「竹林唯七でござる」と一人の男をブラ〱襟髮を取つてブラ下げて居る、是れは何んだといふと竹林が臺所の方をブラ附いて居ると一人盜の陰に隱れて居る者があるから夫れを引捕へて 唯「手前は何んだ」○「手前は木下森右衛門といふ臺所掛り」唯「其方は御隱居上野介樣の隱所を知つて居るだらう」森「イエ更に存じません、私はれ目見以下の身分の輕い者でございますから隱所は更に辯へません」唯「是れ〱大層なことといふ高が二千四百石の旗本で目見以上も以下もないもんだ」森「全く存じません」唯「然んなら庭に離れ座敷があるだらう」森「離座敷は二個所ございます」唯「夫んなら其處に案内しろ」森「腰が拔けまして動けません」唯「夫れおやア乃公が手前をブラ下げてやるから、此刀の鞘に捕まつて來い」森「イエ何うも手が慄へて不可ません」唯「愈よ〱柔弱な奴だサア足を見ろ」と其奴を片手でブラ下げて庭の方をノソ〱歩行いて居るとチヤン〱といふ烈しい太刀響が聞ねるから、何んであらうと森右衛門をブラ下げたなりに竹林が驅けて來て 唯「大石氏」内「唯七か和久半太夫に出會ひ此敵一人の爲に十八を取られて賊に迷惑致す」聞いた竹林が 唯「扨ては有名な半太夫でござるか、願ふてもない好き敵、最う汝に用はない」とブラ下げて居た木下森右衛門を向ふにドシーンと投付けたから森右衛門は猶更腰が拔けて動けぬ、唯七未だ勝敗の決しないといふを聞いて大きに憤はり 唯「ヤア卑怯未練の人々にてあるものよ、去年四月下旬赤穗城内に於て仇討の勝を固め一日千秋の思ひを爲し此場に至つて一人の敵を十人で打取ることのならぬといふは、何のことか卑怯にも己れの命を惜しむ所よりして勝負に勝を得ることのならぬのは武士の風上に置くべきものではない、竹林一人で其敵は受取つたり足手纏ひを何にかせん臆病者よ卑怯者よ」と罵つたから斬合ひながら十人の者○「唯七の無禮の一言、卑怯武士足手纏ひを何にかせんと吐かしたからは唯七に引渡して汗を搔かしてやらう迚ても竹林の手にをへるものではない大方弱い音を出して加勢をして呉れと賴むに違ひないといふので ○「然らば竹林に渡し申す夫れ受取られよ」と次の間に十人が引いて仕舞ふ、半太夫も豪傑だが人間最前からの働きで勞れがあるから十人の者が次の間に引いて呉れたので暫く氣合ひを休めて居る、竹林は伊豆守兼定の銘刀を中段に取つて進んで來る大石が 大「アイヤ唯七一人では危ふし〱」といへ大竹林莞爾と笑つて 唯「御城代危いとは敵のまでござる」とヅカ〱前に進んで往く半太夫 半「ヤイ多勢で勝負の附かざるに汝一人にて我れに敵對なぞといふは命を商ふ市商人か、但しは愚かの發狂人か二の刀合せず命は取る、一刀兩斷覺悟して是れへ來たれ」竹林から〱と打笑い 唯「半太夫、其言葉さへ鼻を拔け言句の分らぬ奥州奴愚図々々言はず勝負に及べ」と唯七は伊豆守兼定の銘刀を以て半太夫と一人打ちの勝負に及んだ、刀を以て鬼神の如き和久豪傑を竹林手傷も負はず斬つて捨てるといふ所より上野介れ隱所が相分といふ……

東京電報

▲教育會と學制　帝國教育會學制研究部にては今回の學制改革案を以て非なりとし現制度を維持すると同時に中學校を六年とし小學校を修業したるものに入學を得せしめ全体に於て一年の短縮を圖る事とし不日提案の起草をなし社會に發表すると同時に文部省に建議し併て輿論の喚起に力むべしと（七日）

▲勸業債券發行　勸業銀行に於ては目下債券發行に就き計畫しつゝあるが目下同行の餘力は一千萬圓以上に上れるを以て公債總額一千萬圓の債券を發行せんとする希望あるも經濟界の事情と大藏省の意見にて或は五百萬圓に止むべし其の發行時期發行條件利率等は協議中なり

▲滿鐵株主總會　滿鐵會社にては來る十八日東京商業會議所に於て總會を開く事に決定し目下中村總裁以下鶴岡理事は右總會の提案協議中なるが鐵道收入と共に昨年來順調に向ひつゝある滿鐵唯一の大豆輸送も好成績を擧げつゝあり本年は必らず政府の持株にも配當を爲すべく期定し目下審議中なるが右配當率は六分以上に出つる事能はざるべし

▲豫算編成方針　我が政府は明治四十四年度歲入歲出總豫算編成期切迫したるを以て財政計劃に就き種々調査審議中なるが其の方針は大体に於て四十三年度豫算編成方針を蹈襲し非募債主義を維持し海軍充實案は明治四十五年度より實施する事と內定せりと確聞す（同上）

▲總務長官人選　統監府總務長官には地方長官中の少壯者より拔擢任用すると決したりと傳ふ

▲漁夫銃殺の眞相　沿海州漁區に於て日本漁夫露國官憲の爲めに銃殺せられたりとの事件は日本漁夫と土人と爭鬪し一名殺されたるを誤電したるものなり（同上）

▲渡邊宮相の招宴　渡邊宮相は御沙汰を奉じ今七日正午宮中顧問官錦雞間祗候を芝離宮に招待し午餐會を催ふせり（同上）

北京電報

▲朝廷轉覆密謀　淸國革命黨は一擧して滿州朝廷を轉覆する一大秘密謀中なりとの飛報北京政府に達したる爲め朝廷の震駭一方ならず各軍機大臣は今朝來軍機處に會し密議を凝し居れり（七日）

▲革命黨員入京　南淸に於ける秘密結社員就中孫文逸仙の一味商人又は勞働者に扮し續々北京に入込む形跡あり皇宮の警戒益々嚴重なり（同上）

地方電報

▲暴徒電線切斷　北蒼坪と慶源間及北蒼坪と穩城間の電柱各一本を昨夜より今朝までに切斷され電線約十八間余を窃取されしが暴徒の所爲らしく其筋にて嚴探中なり（七日羅南發）

雜報

## 滿韓移民の方針

小村外務大臣は第二十六議會に於て北米南米其他には日本移民は最早其余地なきを以て今後は力めて我同胞を滿韓に集中せしむる方針なりと言明したるが其後政府に於ても其方法に付種々研究する所ありたる結果東洋拓殖會社に依りて差當り內地人に對し移住を獎勵しつゝある現狀なるが翻て滿洲方面に於ける日本人の移住に就ては未だ具体的奬勵策なるものなく隨つて目下の所鐵道工事に從事する一部邦人の單獨者のみに限りあるを以て甚だ不振の狀態にあり尤も滿洲の地は氣候の關係上農業に適せず此の點に就ては當局者も苦心研究しつゝある所ろなるが土着地たる南滿鐵道沿線の多くは工業從事者にして商工業も亦比較的好成績を擧げつゝありと云へば今後政府は滿州移住者を奬勵するに當りて商工業を筆頭として安奉線工事竣成の上該沿線地方に邦人を移住せしめ商工業の發展に資する方針なりと聞けり

## 重要電命又下る

寺內統監は現在居留邦人の分布狀勢及現在各官衙並に日韓人官吏配置の狀態其他警備機關に關する一切の設備を最も綿密精細に調査し速かに報告すべく電命を下せりと傳ふ夫れかあらぬか統監府始め各官衙とも當該係の事務は非常の多忙を極め居れり

## 參與官會の激論

別項の如く七日午前十一時より參與官會議の例會を開きたるが統監更迭後日尙ほ淺く隨つて施政の方針那邊に在るか窺知する能はず唯だ揣摩臆說を逞ふするのみにて殆んど統監政治開始以來の奇觀を極め居るが偶々昨紙所報の官吏新任中止の電命突如として墜下し來りし之が爲めに日韓兩官衙の恐慌は實に名狀すべからざるものあり現に內部の如き徒らに豫算を擁して豫定計劃を進むる能はず又漸く開設し是より實地調査の端緒を開かんとせる彼の土地調査局の如き最も痛切なる影響を享けたるより俵副總裁は蹶起となり同會議に於て熱心其不可能の所以を叫び激論する處ありたり而して該電命は官僚昨今の神經を刺戟したる事實に甚しく進退其度を失ふの觀あるが上命如何ともする由なく結局餘儀なき次第として更に時期を待つ事となり散會せりと

●土地調査と地方民　土地調査局にては近日より其事業に着手することは既報の如くなるが調査の目的は主として民有地を調査測量して個人の所有權を確認し之を保護するにあることなれば今更めて言ふを要さざるも地方に於ける愚昧の人民は今回の土地調査を以て或は莫大なる費用を投じ却て個人の負擔を重からしめて民力の困憊を來すに過ぎずと爲し或は土地調査終了後に於て收穫高を人口に割當て幾餘の土地は政府に沒收するものと信じ甚しきは調査の結果富豪の所有土地は日本移民をして耕作せしめ之が爲めに韓國の貧窶家は漸次衰頹を招くに至るべしと爲し種々の誤解よりして一般に疑懼するもの多しと云ふ

●地方稅の費途區別　本年度地方稅收入額は七十七万圓を計上せるが今其費途を聞くに漢城府の如きは約四分の一を土木事業に充て又其他の各道に於ても交通路の開鑿急務なるを認め此點に全力を傾注し居れり現に其額約三十七萬圓を超へ居るの外其他に在ては教育費の五萬五千圓同勸業補助費の約五萬圓同奬勵費三萬圓及屠獸費衛生費等に若干を計上し以て豫定の計劃を遂行する筈なりと云ふ

●警察部長會議開催　第一第三方面の警察部長會議は八日午前九時より內部に於て開催さるゝ筈なるが日程は會議に先ち松井警務局長は一場の訓示を與へ引續各部長の管內情況報告を畢り諮問會に移る筈にて開催は四日間なりしと尙ほ平北島田部長は江界方面巡閲中にて其席に加はらず因に第一第二方面とは忠淸兩道京畿江原にして第三は黃海平安兩道なり

●煙草耕作と度支部　度支部は訓令第六十二號を以て煙草耕作改良指導の爲め技術員派遣に關し左の如く訓令したり
本部臨時財源調査局より煙草耕作を改良する爲め主務管轄內各地方へ隨時技術員を派遣すべし而して勸業獎勵に關する事と同時に當該技術員の便宜を圖り苟くも厭避の情なき樣府尹郡守面長に對し戒飭せし

●平壤水道と水汲夫　過般水道開通式臨場の爲め內部大臣朴齊純氏平壤に赴きたるが同地水汲夫等は水道開通と共に自己の職業を失はん事を恐れ大臣に直訴せんと企て不穩の擧動あるを平壤警察署の探知するところとなり關係者を召喚說諭の上中止せしめたりと

●船舶檢査特別取扱　船舶の第一回檢査は法令の命ずる處に依れば非常の時間と手數を要し船舶業者の迷惑至大なるを以て其筋にては施行の當初なるを斟酌し本年度に限り特別の方法にて便宜の標準及方法に依り出來得る限り簡易に施行するの方針也

●密漁船漸く退散す　淸國密漁船の西北海に於ける跋扈に對し東拓出張所より其筋に水雷艇の急航を電請するに至りしも關稅局所管巡邏船內部所屬警備船二隻の回航により說諭若しくは戒飭により無數の密漁船も今や全く屛息を收むるに至りし由

●參與官の定例會議　昨七日統監府に於て參與官會議例會を開く出席者は小宮、俵、國分の參與官、菊地次官代理、松井次官代理、倉富司法廳長官、大屋鐵道管理局長、鈴木司稅局長、池田通信管理局長等なりと

## 社告

# 統監更迭紀念號

病統監曾禰子爵遂に掛冠して寺內陸相之れに更り山縣前遞相は新に副統監に親任せられ永く沈睡せし統監政治は茲に面目を一新し世上の景氣は將に活氣を帶びんとす、されば本社は兩統監更迭を紀念する爲め左の通り一大紀念號を發刊せんとす

▲紀念號發行日　來る六月廿五日

▲記事の內容　韓半島に關する名士の談論其他政治、經濟、人情、風俗、美文、短篇等最も趣味と實益に富める記事を網羅す

▲頁數と發行部數　約數十頁となし發行部數も平素に數倍し廣く江湖に配附せんとす

右の次第なれば當日の廣告は普通廣告に比し數倍の價値あるを信ず

尤も廣告締切り期日は六月二十日を限りとす

六月　京城新報社

## 戸口調査の困難

韓國戸口調査は目下內部警務局民籍課に於て綜合統計中なるが今其成行を聞くに其材料は各地方警察署憲兵管區をして實地調査せしめ其報告を待ちて統計するに在るが元來本事業は頗る至難の事に屬し吾が國に於ては臺灣に在て始めて完全に施行せられたるのみ然れば韓國の如き地方行政機關の不充實なる國に於ては如何に夫れ至難なるか推知するに難からず則ち現在調査中のものも到底正確なる結果を望む能はず唯だ比較的近似數を知るの程度に於て進行せしむるの外なし而して目下の處にては五月十日の現在を標準として計算すべく既に其報告續々到達し居れり故に本月中には全部の材料を纏め之によりて稍々完全の統計を知るを得べき筈なり尤も曩に調査せしものあるが這は調査の基礎區々にして統計上の根本義を沒却するを以て其後の出產死亡の動態を加除し以て五月十日の現在を基礎とし統計する筈なりと云ふ

●船舶技術官の會議　關稅局に於ては本年度より海事々務を開始したるに付き各地の狀況と實施上の便否又はこれに關係したる凡ての事務打合せの爲め各稅關の船舶技術官及關係者を召集し來る十五日頃より協議會を開催する筈なりと云ふ

●東拓定欵改正認可　東拓會社總會の議決を經たる定欵改正の件は既に夫れ〳〵認可申請中なるが日韓兩政府とも二十一日附を以て認可さるべき由

●大臣會議の休會　七日開會せらる可き大臣會議は都合により休會せり

●御用船仁川入港　御用船渤海丸は一昨六日仁川を出帆し大連に向へり

## 商會議員の競爭

京城商業會議員の半數改選に對して過日來內々にて運動し居る者あることは既報の如し然るに昨七日に至り舊議員派は團體を組織して公然運動を開始したり其顏振れは中村再三、山口太兵衛、曾我勉、增田三穗、林田金次郎、大曲和一郎、中內松治、近藤正康、松浦源治の舊議員諸氏に新顏の前田熊一、進辰馬、石橋久太郎の三氏を加へ猛烈なる運動を爲しつゝあるに對し其反對側にては大橋清三郎、森久兵衛、小林藤右衛門、深見清の諸氏に酒造組合を根據とする西本榮之助氏を加へて盛に運動を始めたり猶は此外に舊議員たりし三浦茂三郎氏は舊議員派と議合はずして單騎運動を試み居る由なるが選擧期日逼迫するに從ひ猶は名乘を擧ぐる者三四名ある見込みなり

## 經濟協會の例會

經濟協會にては目下米國より來京中の頭本元貞氏並に先般來韓せし十八銀行副頭取永見寛二氏の歡迎を兼ね來る十一日午後六時より京城ホテルに於て例會を開催する筈尙ほ當日は會員外と雖も兩氏に緣故ある人は來會差支なしと

●電氣原動力の增設　電車擴張工事は其第一步として數日前より南大門兩側に軌線布設に着手したりしが龍山軍道に就ても六日より鋪初めをなしたり一面擴張に伴ふ原動力の增加は既報の如く龍山瓦斯發生所の隣地に二百五十坪の地をトし五月以來工事に着手中なるが竣功の上は從來の東門內及漢江畔の在來發電所を廢せらるべし尙ほ同工事は土工落成の頃迄には無論竣成さるべき由なりと云ふ

●仁川港艀賃引下げ　仁川に於ける艀賃は本船と棧橋との間及棧橋と稅關構內上屋との間遠き爲め他港に比して割高なりしが今回稅關埋立地に於ける新棧橋並に上屋完成を機とし一般に之れを使用せしめ同時に貨物の檢査を右の上屋內にて行ふことゝ爲したる爲め出入貨物の積卸し及運搬上多大の便利を與へ且時間を節することも尠からざるに依り同港艀業者は協議の上一日より艀賃の引下を爲したり

●仁川埠頭稅關設備　仁川埠頭稅關設備として既に上屋四棟及び鐵棧橋起重機等は完成し今や長さ卅五間奥行七間の煉瓦倉庫二棟を新築工事中なるが遲くも八月中には竣工すべく尙は本廳舍並びに監視部貨物檢査場外廓等の諸工事は近日中受負入札に附せらるゝ筈にて右總ての企畫は本年內に於て完成の豫定なりと

●仁川居留民會開會　仁川第十六回居留民會を七日午後八時より開きたるが其の議事日程は如左

一、四十二年度會計檢査報告の件
二、四十三年度會計檢査委員の選擧
三、寄附金受領報告
四、四十三年度仁川民團歲入出追加豫算
五、協議事項としては仁川病院個人經營に關する件小學校役宅修繕に關する件花町紐峴洞新道路開鑿に關する件

●日韓瓦斯重役會議　日韓瓦斯電氣會社は電鐵複線及馬山電燈新設に關し岡崎專務上京すべき筈の處業務多端の爲め特に在京中の白石高橋兩取締役の來韓を促がし同社樓上に於て六日重役會議を開けり其結果兩取締役は當地に於ける營業一班の現狀を視察し九日馬山へ向け出發の由

●最近各地米豆價格　最近の各地米豆價格度支部調査如左

| | 上籾 | 上玄米 | 上大豆 |
|---|---|---|---|
| 仁川 | 四、三〇 | 八、八〇 | 七、八〇 |
| 江景 | 三、三〇 | 八、三〇 | 六、九〇 |
| 群山 | 四、二〇 | 八、四〇 | 七、三〇 |
| 木浦 | 四、七〇 | 八、八〇 | 六、五〇 |
| 馬山 | 五、五〇 | 九、七〇 | 八、二〇 |
| 密陽 | 四、四〇 | 八、〇〇 | 七、〇〇 |
| 海州 | 三、五六 | 八、三〇 | 六、五〇 |
| 鎭南浦 | 四、九〇 | 九、〇〇 | 八、二〇 |
| 龍岩浦 | 四、九〇 | 一〇、〇〇 | 六、六〇 |
| 平均 | 四、三八 | 八、八〇 | 七、二二 |

●農事觀察團の報告　東拓會社が渡日せしめたる農事觀察團は既に孰れも鄉里に歸省し其結果は早晩事實に現はるべきが同社にては此視察の效果を空しからしめず又將來經營上の參考に資せん爲め一行の人々より報告書を提出せしむる筈なり

●日韓瓦斯拂込通知　日韓瓦斯電氣會社は電氣事業擴張の爲め二十萬圓を第一銀行より借入れ三十萬圓を一般株主より五圓宛拂込ましむる事となりたるが既に夫れ〳〵通知を發し本月中に拂込ましむる由

●漢陽公園引繼協議　過日落成したる漢陽公園は京城民團へ引繼ぐ事となり該工事費は約二千圓を要したる由にて幾分の報償を爲さゞるべからず故に民團にては七日午後七時より協議會を開き經議せりと

●馬山電氣工事開期　日韓瓦斯會社より資金十万圓を賭し目下出願中の馬山電氣事業は本月中旬迄には許可さるべき豫想の由なるが許可と同時工事に着手さるべき筈なりと

●出版界の福音　目下當地日韓書房にて豫約發賣中なる「現行韓國法典」は發賣以來日淺きにも不拘申込非常の好況にて一千部の提供も今や殘部僅少となりし由右は度支部大臣官房の編纂にて從來に比なき完全のものなるに因んも又以て出版界の榮擧なるべし

●佐々木部長出發　土地調査用務の爲め日本に出張を命ぜられたる土地調査部長佐々木藤太郎氏は七日朝南大門發の列車にて東上の途に就きたりと

●島村判事の出發　京城控訴院より釜山裁判所に轉勤を命ぜられたる判事島村忠次郎氏は七日朝釜山に向け出發

●西川勝藏氏入京　輸出牛檢疫所長の同氏は六日入京山本旅館に投宿せり

●米國宣敎師來京　米國宣敎師エーミーアーザー氏は六日入京巴城館投宿

●三宅事務官出張　農商工部三宅事務官は度量衡配付の爲十日各地へ出張

●川上常良氏入京　大邱財務監督局長の同氏は六日入京三日月旅館に投宿

●沼澤七郎氏入京　忠南觀察道書記官の同氏は六日入京山本旅館に投宿す

## 韓國穀物と布哇

（仁川會議所の取調）

仁川商業會議所は曩に力武精米所より布哇に於ける穀物輸入狀況其他に關する調査を委囑せられたれば直にホノルヽ總領事上野專一氏に其旨照會する處ありたるに一昨日外務署の手を經て左の回答に接したりと

一、布哇輸入の穀類は一箇年日本より八万石乃至十萬石にして其價格は八十万弗內外なり
一、輸入米は重に防長米にして中國產之れに次ぐ
一、布哇に於ては玄米の取引を爲さず精白の上市場に上せり
一、同稅關の米穀に對する輸入稅率は玄米英百斤に付米金一弗二十五仙白米は二弗にして神戶よりホノルヽ迄の運賃は一噸に付五弗水揚費一噸四十仙雜費五十仙なりとす
一、輸入米穀販賣上の習慣は一般現取引にて極めて簡單なり白米百斤賣四弗四十五仙同小賣は四弗六十五仙にして精米料は百斤に付約十仙外なり然はモンゴリア號を以て輸入せし最近の相場とす
一、布哇に於ける內人は七万人淸人一万八千人韓人は五千人の在留者あ

▲治外法權▼　此頃は韓人が大分眞面目になつた、眞面目になつた譯には生活問題を叫ぶ樣になつた、何ならば韓人の眞面目は生活困難から來たのだ、幾ら彼等が空論好きでも胃の腑の問題を無視する譯には行かぬ、何はともあれ彼等が眞面目になつて來た丈け結構だ▲新統監がやつて來る、中央地方行政の刷新統一をやる、之は極めて結構で亦必要な事だ、コレさへして置けば合併したからとて政治上の紛擾は何も起きぬ、ヨシ起きたところが意に介するには足りぬ▲併し良く考へて置かねばならぬ事は新統監の政治が一有ゆる韓人の實生活と交渉を有する事だ、幾ら表面が立派になつても新附の蒼生が空腹を感ずる樣では本當の合併が出來たものとは云はれぬ▲東拓が養蠶事業を起すソウだが之は極めて結構な事だ、只り邦人のみならず韓人にも相當の資金を貸して養蠶をやらすが良い、旨くやれば二三千萬圓の輸出生絲は必ず出來る▲此園の本欄に寺內電頭と見玉スペルとがスペル黨を組織すこだろうと書いたが、其後同黨黨の候補者を物色して見ると之は肥滿倶樂部員と違い中々數が多かりソウだ▲まづ近い處が宮內次官の小宮、檢の草場、天眞樓の新田、鐵道の鶴尾等だ、此中鶴尾は完全なスペル黨員の資格もあるが同時に廿日鼠會員の資格ある▲或人曰く參與官の國分や小松もスペル黨員の資格が出來て來たと、ソウ云つて見ると三井の淺野や民長の古城、署長の桐原なども確かに資格が出來て來た樣だ、斯く多士濟々たるスペル黨は電頭統監の爲に定めて活動することであらふ。

## 京城の裏面(一)

### はしがき

引續き愛讀の榮を得たる「名妓洗髮のれ妻」が半生の自白は七日の紙上を以て完結したり、三面子は之れに代る讀物として百鬼横行せる京城の裏面を各方面に涉りて觀察描寫せんとす、讀者希くは此れを以て讀者の好奇心を挑發する投機的冗文字とのみ見らるゝことなく、少くとも京城に於ける一種卑近なる處世訓として範を文字外に索められんことを、と少々辛い手前味噌を打ち撒けること爾り。

### 濡手で粟慾脱裏(一)

五日の本紙に「三人組の恐喝取財」と題したる記事(參照)內容は所謂告訴者側の言分にて被告訴者側にも又言分あり此の双互の言分を綜合すれば一部京城の裏面を窺ふに足るべし被告訴者側即ち

### 川合楠本北島等の言分

を記さんに同人等外一人が打ち伴れて廿二日午前二時頃花園町の山崎喜一方を訪れ激越なる言語を放ちたるも又川合が同人より十二圓七十八錢(六月十日拂約束手形)を受取りたるも又北島が同人より二十圓を受取りたるも川合楠本等が二百圓の出金を申込みたるも悉く事實なるも其の

### 事情

に至りては大に異るものあるのみならず本件の立役者たる津城大八を川合楠本の兩人が山崎に引き合はせたりと云ふに至りては全然相違ありと云ふ然らば如何にして津城が山崎と相識となりしかを有りのまゝに記さんに

### 津城

が人も知る西小門外刑事殺しの嫌疑者として外二人と共に十箇月余を牢舍に送り幸に無罪の宣告を受けて放免せられたるは昨年十二月二十一日なりき超ゑて四十三年二月頃同人が大逆在住中懇親を結び居たる某と南大門外にて邂逅たるに對し先般來受けたる災難及び拘留中悲慘なる一家の出來事(妻女の病氣一件)等を物語りしに某は大に同情を表し常に自分が出入りする川合貞助が俠氣に富むより此れに紹介したるに津城は大に

### 警察の無能野蠻

を鳴らし拘留中受けたる苦痛を列べ口を極めて其の不法を罵りたる末此れを

### 演劇

に仕組みて是非を輿論に問はん考へなりと腕を扼して憤慨せしを聞きたる

### 川合も大に同情

し一臂の力を假さんことを言明したるのみか某氏に托して

### 筋書

せしめたり

津城は此れを携へ壽座を說きて上場すべく契約し

### 壽座

より南部署に願出で興行の許可を得たるに開場の前夜に至りて突然其の

### 指令を取消

されたる事は當時の各新聞紙の報道したる所なれば讀者の記臆に新なる事實なり此の興行許可命令の取消に遭ひたる津城は川合に對し同類者として倶に獄舍の苦を同ふしたる三浦周吉が

### 廣梁灣鹽田工事

に關係し得意の境遇に居るを說き進んで同地の有望なるを極言し或る種の條件を提出したり(續)

### 酌婦をして子を育つ

▽花二三亭まつ技が事の始

女郎酌婦と雖ども女である以上は兒を孕んで惡いと云ふ道理は無けど跡の始末は兎に角措き直樣其の場の稼業の方に影響くから成る事ならば孕まぬ樣にと爲るが好し併し何うにも斯うにもならぬ場合は據ろなけれど然うした時には成る可く甘そうな客を見付け引き取らせる樣にすべし朝鮮の犬ぢやアあるまいし無恰好な札が首つ玉に下つてる譯けでないからねとは江口の里で西行法師が夕立の雨宿りをさせて貰つた遊君に其のお禮として書いて與へた虎の卷こゝに見へる所なれば斯の道に從ふ一同堅く申合せて專ら其の方針にて勉强し以て明治四十三年に及びたるなり然るに此所大和町二丁目花二三亭の酌婦寒川まつ枝(二九)は不埒にも此の憲法を無視し今より八年以前水原在住淫賣營業中據ろなき場合に遭遇したと見へ懷妊し月滿ちて家鴨の卵の如な女の兒を生み落したるさへ少々不都合なるにそれが誰れの胤やら見當が付かず彼れか是れかと諸方へ擔ぎ回つたるも引き受け手のなきに親父のない子供一匹を背負ひ込みしが稼業が稼業自分の手で養育する事が出來ざるより家鴨の卵の如な子丈けに始末もよく水原校洞居住新聞配達八田邊長三と云ふに一人前の人間に孵化して貰ふ事にし爾來一ヶ月何程つゝか養育料を支拂ひ既に本年小學校へ入學せしむる迄になりたるより流石に腹を痛めたる兒のことなれば憎からう筈なく夫れを樂みに盛んに娼法を勵み居りしも今日此の頃同地の不景氣一方ならざるにぞ一二ヶ月前前記花二三亭に鞍替したるものなるが此所も餘り思はしくなく不圖養育料送付を滯りしより田邊の方より引き續き送金すべき樣同人に說諭方を筆洞分遣所に願出でたれば六日午後說諭せられたりと云ふさて串戲は置ふものゝ思へば氣の毒千萬なり

### 女振り

巴城館若內儀　松本春江女

春江子は館主卯吉君の長男民治君の配偶で本姓は柳田と云ひ廣島縣呉市の出生である、明治二十二年の出生で本年は二十二歳、勝子さんと云ふ四歳になるれ子さんがある、五年前當地擲翠樓から藤子と名乘りを上げて半玉として披露目をしたのだが間もなく民治君に見染められ、卯吉君の鑑識にも適ふて巴城館の一粒種の花嫁御寮となつたのである、民治君過日の靑木堂主催の素人演劇に鞘當ての名古屋山三に扮して長田君の不破と倶に……右に富士ヶ嶺北には筑波、思ひ比べん伊達ー小袖……を滿都の士女を編笠越しに睨み倒した而して其出來が非常に好かつた相だが夫れは春江さんの內助の功に俟つ所多かりしことゝ察せらるゝ、敢て春江君には限らないが萬人に善く云はれると云ふ人は稀だ、一方に褒める人があれば一方に貶す人があるのは自然の數である、併し春江さん程極端に此の兩者を有するものは少ない、或る人は親切で萬事に行き屆く實に偉い年は若いが感心なものだ、と云ふ、然うかと思ふと或る人は彼女の樣に不親切な火の見櫓の消防夫ぢやないが人を眼下に見下す奴はない宿屋の嚊ア根性が猛烈に發達したものだと罵る、仔細ぞあらんと探りて見ると褒める人はれ茶代を澤山置いた方で、貶す人は心附けを儉約した方である、と判つて見ると貶す方が贅澤だ、春江さんはれ帳面は嫌ひで現金主義と云ふのだ、れ母さんは呉市に、姉のれ由さんは同居して勝子さんのれ守なぞを爲て御座る。

### 農銀行員と酌婦

▽男は春川農工銀行々員
▽元仲の新地常盤樓酌婦

七日本欄「說論五件」中に記したる長崎縣生れ杉本かつ(十九)と云ふは未だ肩揚げも取れぬ時分より既に男の味を覺へ近所の誰れ彼れと乳繰り合ひたる事一度や二度ならざりしが十五歳の時遂に後足で砂を蹴つて生れ故鄕を立ち出で京城に來り本町七丁目の常盤樓に酌婦として住み込み上は大工左官より下は擔軍苦力に至る迄敵手嫌はず娼賣に出精中昨冬常盤樓は仲の新地に移轉したるが同地は少々客筋も善ければ各員一層努力奮勵せよと日本海戰の際三笠艦に掲揚せられたる信號染みた樓主の訓示に下地は好きなり御意はよしたかつ益々勇を奮つて戰闘を繼續し居りしに或る夜の事れかつを名指しで押し上つたる紳士と云ふは春川農工銀行員有田某なり素より名指しで登樓つた程なれば氣に入らぬ筈なくれかつも有田が今まで取つたれ客に比較すると一番好いので身受けして頂戴など吹き込みたるも今が今と云ふ譯にも行かねば一應春川に鞍替へせよとの事にれかつは本年三月同地の日の丸に前借金二百圓にて住替へたるより有田との逢ふ瀨は心の儘となりしも慾には慾の出るもので有田はれかつに酌婦稼業をさせて置くのが心配になり身請けの金に苦心し居りしに話し替つてかつの鄕里には八十有余の老祖父と同人の弟(十三)の二人暮しに杖とも思ふ嫁のれ何(かつの實母)は亭主の死亡後再嫁し一家の困乏は其極に達し居れるを見たる近隣の者は大に同情を寄せかつが前借金二百圓を調達して叔父の宮崎仁平なる者に與へたるより仁平は過般春川に來り有田との約束あれば歸國せずと云ひ張るを種々に諭し宥め當地迄伴れ戾り大和町二丁目の某方に止宿中叔父仁平の隙を窺ひ突然姿を晦したるにぞ萬一其の儘取り逃す樣の事ありては鄕里に歸る面目なしと筆洞分遣所に搜索願提出せしより嚴重搜索の結果明治町日の出館に潜伏せるを探知せられ取り押へ說諭の上叔父仁平に引渡されたるものなるが此の一件も有田の指金に出でたるものゝ如しとは苦々し

### ●傷人犯者の處刑

本町七丁目三十三番戸肴行商人矢島常太郎(三三)が兼て知合なる永樂町中岡彌太郎と取引上中岡より六七十錢受取るべき金額あるより去る五月二十一日午前七時三十分頃南大門通り日の丸魚市場に於て催促せしに中岡が猶豫を請ふも聞き入れず互に口論を初めたる末矢島は中岡に用談ある故來れと旭町一丁目歌舞伎座前に誘出し喧嘩を初め中岡の胸倉を押へたるに中岡に携へ居たる手鍵の脊を以て頭部を殴打し大事に至らんとせしを同業者二三名來り之を引き分け仲裁して其の場は濟みたるに矢島は遺憾に思ひ出刃庖丁を懷中し隙を窺ひ中岡の後より庖丁を以て斬り付け重傷を負せたる事件は當時既報せしが爾來京城地方裁判所に於て審理中の處六月六日懲役四ヶ月に處せらる

### ●元大隊長の罪科

中部大寺洞深井洞二十八統十六戸沈弘澤は以前北靑大隊長在職中部下より賄賂の多少により昇進せしめために巨萬の富を爲したるものなるが先頃以前の被害者より筆洞憲兵分遣所に詐欺取財の告訴提出せしか其後に至り又其當時の部下少尉朴勝豪より左記物品を掠奪せられしことありとて又々訴出でありしと云ふ

一、虎皮大一個　金百九十圓
一、虎骨金體一部　金一百圓
一、麝香六部　金六十圓

### ●强姦未遂犯處刑

京畿道揚州郡下道面直洞三統五戸朴順先(三八)は本年三月二日附近の金春祿方に至り同人が不在に乘じ其の妻南分伊に姦通を强ゐたるも聽せざるより拳を以て殴打し强姦せんとしたるに同人が悲鳴を揚げたるより雇人が馳け付けし爲め目的を達せず强姦未遂として京城地方裁判所に於て審理中の處六月六日懲役二年に處せらる

### 店員評判記(八)

大上商店々員　大西知三君

知三君は十郎兵衛の娘れつると同國の阿波德島は西新町の產である、れ母さんの名がれ弓と云ふか何うかは保證の限りでない、明治と斷るも變だが其の明治二十一年生れで今年二十三歳の若い衆盛りである、渡韓入店したのが此れも明治三十八年五月で爾來二箇年間は外勤ぞして居つた後內勤に轉じて一箇年を過した四十一年以來集金係を命ぜられて今日に至つたのである、集金係！二十三歳の弱齢を以てして此の大任を托された同君の性行は此の一事が說明して餘りあらふ、活動振りは猛烈とより激烈な方である、何うか何日迄も今日の心を以て百日の功を一簣に缺くことなからんことを切望する。

### ●亂暴車夫の拘留

本町三丁目伊藤組車夫高井庄次郎(四〇)森木清藏(三八)二名は六日午後十一時頃南部石井洞酒幕金召史方に至り飲酒の結果亂暴を働き金召史を殴打し折柄通行せる遊藝稼人北米倉町關根由五郎長女すゞ(八)二女おき(五)を打擲り擦傷を負せ大貞洞派出所に於て警官に暴言を吐き抵抗を試みたるより西部署に引致され拘留五日に處せらる

### ●韓人の正當防衛

西部盤松坊京口橋洞人力車夫張仁植(四八)は西大門內派出所前道路に於て撒水を爲し居りたるに清國人胡計山(三〇)なる者通り掛り水を掛けしとて遂に自宅に連れ行き三名にて薪を以てしたゝか殴打したるより張は植も默つて居ず相手の薪を奪ひ取り清國人二人を殴打し輕傷を負せたるより西部署に告訴せられ目下取調中なるが張の申立に因れば正當防衛に出てたるものならん

### ●双方ともに說諭

明治町十八番戸中村治作方本田矢藏(三二)は六日午後八時頃より長谷川町淫賣屋を軒別素見し例の繼子憎みの仇名ある菊の江に至り素見し何か一寸した事より口論を起し主人山中定次郎(五〇)と互に摑り合ひ南部署に持ち出し双方說諭せらる

### ●小學教員の盜害

大和町三丁目三十番戸の三日の出小學校教員堀內五郎は昨日一寸家を空けたる間に銀側時計一、金員二十五圓其他雜品數點を竊取せられしと云ふが之れも韓人の行爲ならんと云ふ兎に角御用心〳〵

### ●仁川雜事

仁川鱗樓の咲太郎は玉勇と同じく政編は福太郎と今回改名したり▲仁川京町一丁目滿物精米所に一昨日午前八時頃及び午後六時頃の兩度何者とも知れざれど投石したる者あり目下其筋の手にて嚴探中なりと云ふ▲仁川ラム子會社及花町二丁目中山宇之吉の製造に係る飲料水に對し內部衞生局の手にて再檢査の結果先月十七日以後の製造に係る分は飲料に適せる事を確めたりと云ふ

### ●ラム子とミカン水

大和町二丁目なる韓城製藥所に於ては材料を精選しラム子、ミカン水を製造し賣り出したるが他品に比し頗る優良なり

### 目と耳

○一口噺　△▲子

巡査の子「れ父さん今日學校のれ修身はね人の踏み行く道て云ふの」親父曰く「夫れは右側だらふ」

▲京城座　八日の替り藝題は「天明全九場」にして重なる役割左の如し　小川よし(堀江)鈴川五三郎(桂木)艶子(金澤)重三郎(川崎)れかく(高島)木村大造(中澤)淺岡書記官(浮田)書生大山(松村)達摩宗太(美崎)夫人百代(平井)小川丹助　瀨川(松葉)同播磨(高岡)同山城(島村)尙ほ九日の狂言は「不如歸」全八幕なり

▲浪花館　八日の番組は左の如し　明石名所(若三郎)四の字嫌(若明)これ〳〵ばくち(笑三)釉貰め(文喬)豊竹座(圓三)喜劇(座員總出)たぬき妻(若遊三)大切所作事電氣應用

▲御成座　同座の人形芝居三日目替り番組は前「酒正公靈現記肥後駒下駄」五段目迄切「たしゆん傳兵衛堀川の段」座員總掛け合ひなりと云ふ

### 今日の運勢

六月八日舊五月朔日　五黃大安　甲辰　開　△一白　不利の日新事及變更を來し凶旅行轉住保證事を戒しむ△二黑　婚姻及團體結社に吉情義に迫られ失費あり其他平凡△三碧　間違多き日諸事控へ目にすべし酒色遊樂の誤りを戒しむ△四綠　儉約の事係累あり盜害横領防ぐべし新事及旅行見合せの事△五黃　諸事手控への事要求無心にて迷惑を受くるあらん△六白　盛運日なり入學門開店業披露旅行等吉療病衞生に留意すべし△七赤　仕官就職相談開店業協合連盟に吉帳簿證券印章の事注意△八白　整理改革旅行轉住精榮に吉保證引受事の煩累を釀す勿れ△九紫　家庭近親、事係累あり其の他靖寧也(本町五丁目三一舘判斷)

廣告

美術半襟帶締其他組類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九番
ゑり德商店

一鴨綠江松材現木
長サ八尺五寸以上二間半 一尺五寸角以上二尺迄
右木材多數所有致し居候に付特別安價に賣却仕候間御望の方は御來談被下度願上候
京城旭町三丁目 電話五百六十八番
建築業 柴田芝六

表具部開業
襖 額 屛風 天井壁張及表裝一切並書畫の需用に應す
旭町三丁目三日月湯隣
柴田表具部
主任 網島久雄
眞光小太郎
電話(五六八)

代書業
京城裁判所前向
池田仁吾

民刑事件鑑定辯護
前檢事 辯護士 豊田法律事務所
京城鐘路裁判所向

伯爵大隈重信閣下序文
前駐日清國公使李家駒閣下題字
子爵清浦奎吾閣下有効證明
駐上海日本總領事永瀧久吉閣下有効證明
東京電氣治療法研究會 著作發行 發明專賣

完全靈効 素人患者 自宅療法
自用電氣療法新編 一冊
自宅電氣療治の手引 一冊
自用電氣治療器械 六種

●自用電氣療法新編には▲人體の構造及生理作用▲電氣治療器械▲電氣治病法及通電法總論▲通電法各論の六章より成り◎腦病▲神經衰弱▲癲癇症▲生殖器疲弱▲生殖器發育不全▲性慾▲子宮諸病▲全身虛弱▲胃腸病▲神經痲痺▲神經痛▲リウマチス▲中風▲痛風▲脚氣等六十餘種の難病を自宅にて安全輕便に治療する方法を詳說し▲尚最新電氣按摩術▲電氣治▲電氣美顔術▲電氣脫毛術等も詳述し▲實價五十錢送料六錢●手引は菊判五十頁の實用書にして三種電氣の性質器械の用法治療の方法等を親切に說明せり實價十錢送料二錢●器械は六種有り其說明は新編にも手引にも詳述す但販賣規則說明書は申込次第發呈す

發賣 東京市神田區一ッ橋通町二十一 東京電氣治療法研究會
大阪市西區京町堀通一丁目十五 東京電氣治療法研究會大阪販賣店
東京市日本橋區通一丁目 嵩山堂
大阪市心齋橋筋博勞町 嵩山堂
東京市神田區表神保町 東京堂
東京本郷湯島切通坂町 南江堂

難病に苦める人生殖器無能の人は速に電氣治療を試よ
如何に靈効ある電氣治療にても器械不完全なるか通電法不適當なれば効力なき事勿論なり
●本會の研究は日進日新、今や全く完全無缺の域に達せり

齒科治療
本町六丁目
ドクトル 中村安子
(數そば横町)電話一五八三

蜂印香竄葡萄酒
本品は日本の標準葡萄酒として内外大博覽會より二十四個の金銀賞牌を受領せり
FRAGRANT WINE D. KAMIYA SOLE AGENT R. KONDO
東京 近藤利兵衛

胃腸新薬
ヌカヂアスターゼ
韓國總代理店
仁川本町二丁目電話八五〇番
竹田津三平

新學期開始
大日本法律講義會
◎入學最好機●各學年(第一號第二號)既刊
▲月謝四十錢内割引の制あり
▲規則郵券二錢添へ申込あれ
◎特點 本大學講義錄を修了したる者は法學得業士の稱號を許與し
◎特色 本大學校外生にして每年高等文官判檢事辯護士試驗に登第せらるゝの士多く好評嘖々たり
理事學長 前農商務大臣 松岡康毅
理事 貴族院議員 貴族院議員法學博士 石渡敏一
監事 司法省民刑局長法學博士 平沼騏一郎
東京市神田區今川小路二丁目四番地
◀日本大學法科講義錄出版部▶
電本九六五番・振替口座東京二〇四八〇番

資本金壹百萬圓
大阪火災海上運送保險株式會社
(本社大阪東區備後町)
京城代理店
京城本町四丁目
三共商會
電話四一三番
保險料は低廉にして極めて簡便に御契約可仕候
官製煙草元賣捌店

明治廿年七月創立●
東京火災海上運送保險株式會社
資本金一千萬圓●
京城代辨店 本町四 山口呉服店電話九番
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

天下無敵高等紙卷
美術寫眞入煙草
月世界
TSUKISEKAI
品質良好香味佳良
原料精撰價格低廉
製造元 大石大郎商會本店
發賣元 西大門驛前 大石商會出張所

◎◎緊急廣告
景品附賣出期間本月十一日迄
景品は各商店に陳列す
餘日切迫に付此好機を逸せられず陸續御購求希上候
和洋金物商
韓國京城本町五丁目
藤本次郎本店
電話四五番 電信略號「ク」
振替貯金口座韓國二五六番

特約販賣
自製
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
支那白菜漬
朝鮮菜葉漬
大賣出し
(電話二五一番)

京城相生町南門湯横(電話二九四番)
自午前八時
至午後九時
●花柳病專門
附 痔疾一般
●入院隨意●
京城梅毒病院
院長 醫學得業士 蘆田耕平

マッサージ術
僂麻質斯。神經痛。
脊髓炎。腰筋骨
挫骨
一切の術
小生儀内地に於て他年の間斯業に從事致し居り多數の患者を全治せし經驗有之候處今般左記に出張所を設く患者の需に應す
京城西小門通(三ッ角)
佐世保より出張
井手

滋養
強壯
高等牛乳
韓國畜産株式會社
南大門外
電話八八番

各科診療
南山町二丁目
松岡醫院
電話六七五番
入院隨意

●●●滋養と牛乳●●●
純良牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話壹六九〇番
馬車配達
●●●衛生と消毒●●●

●三味線のはりかわはどこがよいであろうかはりがよくてねだんの安いは
京城本町五丁目郵便ポスト前
米川三味線店に限る
其他月琴 洋琴 尺八 笛類一式 安價販賣仕候
ヴァイオリン 速成教授
追て教授は親切ご叮寧に可仕候尺八指南も取次します

高等旅館
平壤大和町
浪花館
電話一三四番

御官衙御用
營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
發託販賣
東京ランバーゾ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 東京京橋區南鍋町一丁目 十番地電話新橋三六九二

旅館
京城南山町三丁目
京城ホテル
電話長一二三番
四九二番
日本室和食
特等 三圓五十錢
一等 二圓五十錢
二等 一圓八十錢
三等 一圓五十錢

きゝめのある温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りん病よこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、ぜんき腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を併用すれば尤も効能あり
京城本町一丁目郵便局前
貸席
鐵冷温泉
電話千四百十一番

資本金 一千萬圓
積立金 五百四十萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
電話一一番 六二一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大坂町(東京)、兵庫、伏見、西區(大阪)、釜山、其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

韓國銀行
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候
支店出張所 仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、咸興、羅南、安東縣
爲替取引先
日本 東京、京都、大阪、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大坂西區、松山、廣島、
韓國 公州、光州、晉州、全州、開城、海州、沙利院、博川、惠遠、
清國 義州、大連、遼陽、旅順口、奉天、鐵嶺、長春、牛莊、天津、北京、
其他 漢口、上海、
外國 香港、桑港、紐育、龍動、巴里、里昂、